

がん検診の精度管理の実施に伴う
市町村への指導事項

令和6年4月

岩手県保健福祉部

【現状】

1 検診対象年齢及び検査項目について（令和4年度実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 対象年齢については、「40歳以上、上限なし」が27市町村、「35歳以上、上限なし」が5市町村、「年齢制限なし」が1市町村となっている。
- ・ 検査項目については、「問診」を全ての市町村で実施しており、32市町村が「胃部X線検査」を、2市町村が「胃内視鏡検査」を実施している。

（2）肺がん検診

対象年齢については、指針どおり（40歳以上、上限なし）が28市町村、「35歳以上、上限なし」が2市町村、「年齢制限なし」が1市町村、「35歳以上、64歳以下」が1市町村、「40歳以上、64歳以下」が1市町村となっている。

- ・ 検査項目については、「問診・質問」、「胸部X線検査」を全ての市町村で実施しており、うち32市町村が「喀痰細胞診」も実施している。

（3）大腸がん検診

- ・ 対象年齢については、指針どおり（40歳以上、上限なし）が25市町村、「35歳以上、上限なし」が7市町村、「年齢制限なし」が1市町村となっている。
- ・ 検査項目については、「問診」、「便潜血検査」を全市町村で実施している。

（4）乳がん検診

- ・ 対象年齢については、指針どおり（40歳以上、上限なし）が26市町村、「30歳以上、上限なし」が6市町村、「35歳以上、上限なし」が1市町村となっている。
- ・ 検査項目については、「問診」及び「乳房エックス線検査」を全ての市町村で実施している。
- ・ 「視診・触診」は、3市町村が実施しており、うち30歳以上で実施しているのが1市町村、40歳以上の個別検診で実施が2市町村となっている。
- ・ 「超音波検査」は、20市町村で実施しており、うち30代に実施しているのが2市町村、30代～40代に実施しているのが4市町村、35歳～49歳に実施しているのが1市町村、40代に実施しているのが11市町村、40歳以上に実施が1市町村となっている。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 対象年齢については、全ての市町村で指針どおり（20歳以上、上限なし）となっている。
- ・ 検査項目については、「問診」、「視診」、「子宮頸部の細胞診」、「内診」を全ての市町村で実施している。
- ・ 「HPV検査」を一部の対象者に実施している市町村は2市町村、「経膈超音波検査」を実施している市町村が27市町村、「体部細胞診」を一部の対象者へ実施している市町村が1市町村となっている。

2 業務委託機関について

(1) 胃がん検診

- ・ 集団検診は 32 の市町村で実施しており、個別検診は 4 市町村で実施している。
※ 両方実施している市町村は 3 市町村となっている。

(2) 肺がん検診

- ・ 集団検診は 32 市町村で実施しており、個別検診は 4 市町村で実施している。
※ 両方実施している市町村は 3 市町村となっている。

(3) 大腸がん検診

- ・ 集団検診は 31 市町村で実施しており、個別検診は 7 市町村で実施している。
※ 両方実施している市町村は 5 市町村となっている。

(4) 乳がん検診

- ・ 集団検診は 32 市町村で実施しており、個別検診は 10 市町村で実施している。
※ 両方実施している市町村は 9 市町村となっている。

(5) 子宮頸がん検診

- ・ 集団検診は 32 市町村で実施しており、個別検診は 16 市町村で実施している。
※ 両方実施している市町村は 15 市町村となっている。

3 受診勧奨実施の有無と実施方法について

(1) 胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診

- ・ 全ての市町村で受診勧奨を実施しており、通知、保健推進委員による戸別訪問、チラシ、広報誌、防災無線等により実施している。

4 受診再勧奨実施の有無と実施方法について

(1) 胃がん検診

- ・ 受診再勧奨は、通知、チラシ、広報誌等により、24 市町村が実施している。

(2) 肺がん検診

- ・ 受診再勧奨は、通知、チラシ、広報誌等により、19 市町村が実施している。

(3) 大腸がん検診

- ・ 受診再勧奨は、通知、チラシ、広報誌等により、24 市町村が実施している。

(4) 乳がん検診

- ・ 受診再勧奨は、通知、チラシ、広報誌等により、21 市町村が実施している。

(5) 子宮頸がん検診

- ・ 受診再勧奨は、通知、チラシ、広報誌等により、23 市町村が実施している。

5 検診受診率について（令和4年度実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 岩手県の令和4年度の受診率は11.7%で、全国平均（令和2年度）4.7%より高い。
- ・ 年齢階級別にみると、40代～50代が他の年代より低い。

（2）肺がん検診

- ・ 岩手県の令和4年度の受診率は10.8%で、全国平均（令和2年度）5.5%より高い。
- ・ 年齢階級別にみると、40代～50代が他の年代より低い。

（3）大腸がん検診

- ・ 岩手県の令和4年度の受診率は10.8%で、全国平均（令和2年度）6.5%より高い。
- ・ 年齢階級別にみると、40歳～54歳が他の年代より低い。

（4）乳がん検診

- ・ 岩手県の令和4年度の受診率は23.6%で、全国平均（令和2年度）15.6%より高い。
- ・ 年齢階級別にみると、45歳～49歳が他の年代より低い。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 岩手県の令和4年度の受診率は17.7%で、全国平均（令和2年度）15.2%より高い。
- ・ 年齢階級別にみると、20歳代が他の年代より低い。

6 精検受診率について（令和3年度検診実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 岩手県の精検受診率は86.7%で、目標値（90.0%以上）に達していないが、許容値（70.0%以上）に達しており、全国平均（令和2年度）85.9%より高い。
- ・ 市町村別にみると、30市町村が許容値に達しており、うち13市町村が目標値に達している。

（2）肺がん検診

- ・ 岩手県の精検受診率は93.0%で、目標値（90.0%以上）に達しており、全国平均（令和2年度）82.7%より高い。
- ・ 市町村別にみると、32市町村が許容値（70.0%以上）に達しており、うち28市町村が目標値に達している。

（3）大腸がん検診

- ・ 岩手県の精検受診率は79.9%で、目標値（90.0%以上）に達していないが、許容値（70.0%以上）に達しており、全国平均（令和2年度）68.6%より高い。
- ・ 市町村別にみると、28市町村が許容値に達しており、うち4市町村が目標値に達している。

（4）乳がん検診

- ・ 岩手県の精検受診率は93.7%で、目標値（90.0%以上）に達しており、全国平均（令和2年度）90.1%より高い。
- ・ 市町村別にみると、28市町村が許容値（70.0%以上）に達しており、うち19市町村が目標値に達している。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 岩手県の精検受診率は84.2%で、目標値（90.0%以上）に達していないが、許容値（70.0%以上）に達しており、全国平均（令和2年度）76.8%より高い。
- ・ 市町村別にみると、27市町村が許容値（70.0%以上）に達しており、うち20市町村が目標値に達している。

7 精検未受診率について（令和3年度検診実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 岩手県の未受診率は5.3%で、目標値（5.0%以下）に達していないが、許容値（20.0%以下）に達しており、全国平均（令和2年度）5.4%より低い。（良い）
- ・ 市町村別にみると、全ての市町村が許容値に達しており、うち15市町村が目標値に達している。

（2）肺がん検診

- ・ 岩手県の未受診率は4.9%で、目標値（5.0%以下）に達しており、全国平均（令和元年度）6.4%より低い。（良い）
- ・ 市町村別にみると、30市町村が許容値（20.0%以下）に達しており、うち19市町村が目標値に達している。

（3）大腸がん検診

- ・ 岩手県の未受診率は13.2%で、目標値（5.0%以下）に達していないが、許容値（20.0%以下）に達しており、全国平均（令和2年度）14.3%より低い。（良い）
- ・ 市町村別にみると、27市町村が許容値に達しており、うち4市町村が目標値に達している。

（4）乳がん検診

- ・ 岩手県の未受診率は2.0%で、目標値（5.0%以下）に達しており、全国平均（令和2年度）2.8%より低い。（良い）
- ・ 市町村別にみると、27市町村が許容値（10.0%以下）に達しており、うち26市町村が目標値に達している。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 岩手県の未受診率は3.9%で、目標値（5.0%以下）に達しており、全国平均（令和2年度）5.8%より低い。（良い）
- ・ 市町村別にみると、31市町村が許容値に達しており、うち26市町村が目標値に達している。

8 精検未把握率について（令和3年度検診実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 岩手県の未把握率は7.5%で、目標値（5.0%以下）に達していないが、許容値（10.0%以下）に達しており、全国平均（令和2年度）8.7%より低い。（良い）
- ・ 市町村別にみると、25市町村が許容値（10.0%以下）に達しており、うち16市町村が目標値に達している。

（2）肺がん検診

- ・ 岩手県の未把握率は4.6%で、目標値（5.0%以下）に達しており、全国平均（令和2年度）11.3%より低い。（良い）
- ・ 市町村別にみると、31市町村が許容値に達しており、うち27市町村が目標値に達している。

（3）大腸がん検診

- ・ 岩手県の未把握率は6.9%で、目標値（5.0%以下）に達していないが、全国平均（令和2年度）17.0%より低い。（良い）
- ・ 市町村別にみると、25市町村が許容値（10.0%以下）に達しており、うち17市町村が目標値に達している。

（4）乳がん検診

- ・ 岩手県の未把握率は4.3%で、目標値（5.0%以下）に達しており、全国平均（令和2年度）7.1%より低い。（良い）
- ・ 市町村別にみると、25市町村が許容値（10%以下）に達しており、うち21市町村が目標値に達している。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 岩手県の未把握率は許容値（10.0%以下）に達しておらず、全国平均（令和2年度）17.6%より低い。（良い）
- ・ 市町村別にみると、23市町村が許容値に達しており、うち18市町村が目標値に達している。

9 要精検率について（令和3年度検診実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 岩手県の要精検率は4.7%で、許容値（11.0%以下）に達しており、全国平均（令和2年度）6.8%より低い。
- ・ 市町村別にみると、全ての市町村が許容値に達している。

（2）肺がん検診

- ・ 岩手県の要精検率は2.5%で、許容値（3.0%以下）に達しているが、全国平均（令和2年度）2.1%より高い。
- ・ 市町村別にみると、26市町村が許容値に達している。

（3）大腸がん検診

- ・ 岩手県の要精検率は5.6%で、許容値（7.0%以下）に達しており、全国平均（令和2年度）7.7%より低い。
- ・ 市町村別にみると、28市町村が許容値に達している。

（4）乳がん検診

- ・ 岩手県の要精検率は1.9%で、許容値（11.0%以下）に達しており、全国平均（令和2年度）5.9%より低い。
- ・ 市町村別にみると、全ての市町村が許容値に達している。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 岩手県の要精検率は1.9%で、許容値（1.4%以下）に達しておらず、全国平均（令和2年度）2.2%より低い。（良い）
- ・ 市町村別にみると、12市町村が許容値に達している。

10 がん発見率について（令和3年度検診実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 岩手県のがん発見率は0.13%で、許容値（0.11%以上）に達しており、全国平均（令和2年度）0.21%より低い。
- ・ 市町村別にみると、16市町村が許容値に達している。
- ・ 12市町村は、「胃がんであった者」が0人であるため、がん発見率も0%となっている。

（2）肺がん検診

- ・ 岩手県のがん発見率は0.07%で、許容値（0.03%以上）に達しており、全国平均（令和2年度）0.06%より高い。
- ・ 市町村別にみると、22市町村が許容値に達している。
- ・ 11市町村は、「肺がんであった者」が0人であるため、がん発見率も0%となっている。

（3）大腸がん検診

- ・ 岩手県のがん発見率は0.24%で、許容値（0.13%以上）に達しており、全国平均（令和2年度）0.24%と同値。
- ・ 市町村別にみると、28市町村が許容値に達している。

（4）乳がん検診

- ・ 岩手県のがん発見率は0.34%で、許容値（0.23%以上）に達しており、全国平均（令和2年度）0.34%と同水準である。
- ・ 市町村別にみると、23市町村が許容値に達している。
- ・ 7市町村は、「乳がんであった者」が0人であるため、がん発見率も0%となっている。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 岩手県のがん発見率は0.01%で、許容値（0.05%以上）に達しておらず、全国平均（令和2年度）0.03%より低い。
- ・ 市町村別にみると、2市町村が許容値に達している。
- ・ 30市町村は、「子宮頸がんであった者」が0人であるため、がん発見率も0%となっている。

11 陽性反応的中度について（令和3年度検診実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 岩手県の陽性反応的中度は2.8%で、許容値（1.0%以上）に達しており、全国平均（令和2年度）3.1%より低い。
- ・ 市町村別にみると、19市町村が許容値に達している。
- ・ 12市町村は、「胃がんであった者」が0人であるため、陽性反応的中度も0%となっている。

（2）肺がん検診

- ・ 岩手県の陽性反応的中度は2.8%で、許容値（1.3%以上）に達しており、全国平均（令和2年度）2.6%より高い。
- ・ 市町村別にみると、19市町村が許容値に達している。
- ・ 11市町村は、「肺がんであった者」が0人であるため、陽性反応的中度も0%となっている。

（3）大腸がん検診

- ・ 岩手県の陽性反応的中度は4.2%で、許容値（1.0%以上）に達しており、全国平均（令和2年度）3.0%より高い。
- ・ 市町村別にみると、30市町村が許容値に達している。

（4）乳がん検診

- ・ 岩手県の陽性反応的中度は18.0%で、許容値（2.5%以上）に達しており、全国平均（令和2年度）5.8%より高い。
- ・ 市町村別にみると、26市町村が許容値に達している。
- ・ 7市町村は、「乳がんであった者」が0人であるため、陽性反応的中度も0%となっている。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 岩手県の陽性反応的中度は0.4%で、許容値（4.0%以上）に達しておらず、全国平均（令和2年度）1.2%より低い。
- ・ 市町村別にみると、2市町村が許容値に達している。
- ・ 30市町村は、「子宮頸がんであった者」が0人であるため、陽性反応的中度も0%となっている。

12 がん検診事業評価のためのチェックリストの実施状況調査結果（令和5年度実施分）

（1）胃がん検診

- ・ 岩手県の胃がん検診のチェックリスト実施率(胃部エックス線)について、集団検診では、85.5%であり、個別検診では、72.0%となっている。
- ・ 集団検診で実施率が高かった項目は、「地域保健・健康増進事業報告」、「精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨」、「受診率の集計」などであり、実施率が低かった項目は、「検診機関（医療機関）の質の担保」、「検診対象者の情報管理」などとなっている。
- ・ 個別検診で実施率が高かった項目は、「受診者の情報管理」であり、実施率が低かった項目は、「受診者への説明、及び要精検者への説明」、「検診機関（医療機関）の質の担保」などとなっている。

（2）肺がん検診

- ・ 岩手県の肺がん検診のチェックリスト実施率について、集団検診では、82.9%であり、個別検診では、78.3%となっている。
- ・ 集団検診、個別検診ともに実施率が高かった項目は、「地域保健・健康増進事業報告」、「精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨」などであり、実施率が低かった項目は、「検診機関（医療機関）の質の担保」、「肺がん検診受診者中の高危険群割合」、「高危険群中の喀痰容器配布割合」、「喀痰容器配布中の回収率」、「肺がん検診受診者中の喀痰容器回収率」の集計などとなっている。

（3）大腸がん検診

- ・ 岩手県の大腸がん検診のチェックリスト実施率について、集団検診では、84.4%であり、個別検診では、83.6%となっている。
- ・ 集団検診、個別検診ともに実施率が高かった項目は、「地域保健・健康増進事業報告」、「精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨」、「受診率の集計」などであり、実施率が低かった項目は、「検診機関（医療機関）の質の担保」、「検診対象者の情報管理」などとなっている。

（4）乳がん検診

- ・ 岩手県の乳がん検診のチェックリスト実施率について、集団検診では、84.9%であり、個別検診では、94.3%となっている。
- ・ 集団検診、個別検診ともに実施率が高かった項目は、「地域保健・健康増進事業報告」、「精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨」などであり、実施率が低かった項目は、「検診機関（医療機関）の質の担保」、「検診対象者の情報管理」などとなっている。

（5）子宮頸がん検診

- ・ 岩手県の子宮頸がん検診のチェックリスト実施率について、集団検診では、84.2%であり、個別検診では、86.3%となっている。
- ・ 集団検診、個別検診ともに実施率が高かった項目は、「地域保健・健康増進事業報告」、「精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨」などであり、実施率が低かった項目は、「検診機関（医療機関）の質の担保」、「検診対象者の情報管理」などとなっている。

【市町村への指導事項】

1 各がん検診共通事項

(1) がん検診受診率（受診者数）の向上について

- ・ 岩手県がん対策推進計画等の目標である「がん検診受診率の向上（あらゆるがん検診実施主体を含めたがん検診受診率）」の達成に向けて、がん予防に関する公開講座やセミナーの開催、広報誌やホームページ等での周知など様々な手段を通じてより一層の普及啓発に努められるようお願いいたします。
なお、公開講座やセミナーの開催に当たり、講師の斡旋を希望する場合は、各がん部会構成員の紹介等により協力することができますのでご検討ください。
- ・ 受診勧奨内容の見直し等においては、厚生労働省作成の「受診率向上施策ハンドブック」等を参考に、周辺市町村の取組を参考とする等より効果的な勧奨方法についても積極的な取組の検討をお願いいたします。
- ・ 再勧奨を実施していない市町村は、積極的に実施に努めるようにしてください。また、再勧奨の実施時期については、有効的な時期を随時検討願います。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えからがんの発見が遅れないようにするために、対象者に対して必要な情報提供を行うなど受診勧奨を引き続き実施するようお願いいたします。

(2) 精検受診率の向上について

- ・ 精検受診率向上のため、全ての未受診者に対して受診勧奨を実施するようお願いいたします。受診勧奨を行う際には、精密検査の重要性を十分に説明し、精密検査に関する正しい情報を提供して不安を取り除くなど、勧奨内容の充実に努められるとともに、ナッジ理論を参考に勧奨方法の工夫にも努めるようお願いいたします。
- ・ 精検受診率の低い市町村においては、その要因を的確に把握し、対策に努めるようお願いいたします。特に許容値以下となっている市町村については、一層の対策をお願いいたします。
- ・ 令和2年度と比較して精検受診率が低くなっている市町村は、改善に努めるようお願いいたします。
- ・ 精検受診者の検査結果等を確実に確認し、**未把握数の減少**に努めるようお願いいたします。

(3) 各がん検診事業評価のためのチェックリストの実施について

- ・ がん検診事業評価のためのチェックリストに掲げる項目については、何れも適正ながん検診実施のために取り組むことが望ましい項目であることから、実施率100%を目指して、実施可能な項目から着実に取組を推進するようお願いいたします。

2 胃がん検診受診率（受診者数）の向上について

- ・ 初回受診者のがん発見率は高いことから、これまで受診していない住民に対しては、重点的に受診勧奨を行うこと。また、精密検査にかかる受診勧奨についても確実に実施すること。

3 各がん検診における検診対象年齢について

- ・ 肺がん検診の対象年齢に上限を設けないこと。
- ・ 乳がん検診の対象年齢については、30 歳代に対する検診は利益が明確でないことを踏まえ、慎重に実施を検討すること。

4 乳がん検診におけるチェックリストの実施について

- ・ 個別検診を実施している市町村においては、国の定める「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしている検診機関（医療機関）に委託するようお願いいたします。
- ・ 個別検診を実施している市町村においては、検診機関（医療機関）毎に、「検診機関用チェックリスト」の遵守状況やプロセス指標値の集計を行うようお願いいたします。